

平成19年度学術創成研究費 事後評価結果

研究課題名	グリーン化学に向けた高機能触媒の 開拓ー精密分子触媒の開拓ー	研究代表者名	野依 良治
-------	-----------------------------------	--------	-------

※該当箇所（ ）に○等の印を付け、意見を記入してください。

1 研究計画、目的の達成度について

当初の研究計画、目的に照らし、採択時以降の関連分野の学術動向を踏まえた上で、その達成の度合いはどうか。

- ア (○) 予定以上に達成した
- イ () 概ね予定どおり達成した
- ウ () 一部不十分である
- エ () 達成していない

意見：
不斉水素化触媒の斬新な反応機構の提唱と実証、グリーン度の高い過酸化水素酸化の実現など、達成度は高い。

2 当該学問分野及び関連学問分野への貢献度について

当該学問分野及び関連学問分野における研究の発展に関し、貢献の度合いはどうか。

- ア (○) 十分に貢献できた
- イ () 概ね貢献できた
- ウ () 一部貢献できた
- エ () 貢献できていない

意見：
新しい反応機構の提唱は他の研究者に大きなインパクトを与え、新たな多くの挑戦的研究を生み出している。

3 研究成果について

(1) 学術創成研究費の趣旨及び当初の研究計画、目的に照らし、学術創成研究費としての意義ある成果をあげたか。(又はあげつつあるか。)

- ア (○) 非常に高く評価できる
- イ () 概ね高く評価できる
- ウ () 一部高く評価できる
- エ () 高く評価できない

意見：
学術創成研究費の趣旨に合致した研究達成度の高い十分に意義ある成果を挙げている。

(2) 研究成果の普及性、波及性はどうか。また、研究成果の積極的な公表に努めているか。

- ア (○) 非常に高く評価できる
- イ () 概ね高く評価できる
- ウ () 一部高く評価できる
- エ () 高く評価できない

意見：
発表論文の引用度の高さはずば抜けており、普及性、波及性は極めて高く評価できる。

4 研究課題の総合的な評価

該当欄		評価結果
○	A+	期待以上の進展があった
	A	期待どおり進展した
	B	期待したほどではなかったが、一応の進展があった
	C	十分な進展があったとは言い難い

総合的な評価意見：

「分子触媒作用の本質的な原理の創出と活用」という高い目標を掲げてそれを達成し、分子触媒の分野でのリーダーとして学問的波及効果とともに、実用的にも多大の影響をもたらした。不斉分子触媒の分野での「金属-配位子二官能性機構」の提唱と実証は、固定観念にとらわれない柔軟な発想の必要性をアピールした点でも高く評価されるべき成果である。

また、過酸化水素酸化によるアジピン酸の合成は従来法に比べて革新的なグリーンプロセスなので、ぜひ実用化に結び付けてほしい。